

## 「神戸市都市計画マスタープラン 地域別構想“三宮～ウォーターフロント都心地区編”」 素案に対する市民意見募集結果および諮問案への反映について

### 1. 趣旨

現在、三宮～ウォーターフロント都心地区では、「国際港都神戸」「デザイン都市・神戸」の玄関口としてふさわしい空間づくりに向けて、神戸全体のまちや経済を活性化し、国際競争力を高め、市民、事業者、来街者にとって魅力的な都市空間の整備等を進めていくことが求められております。

そこで、本地区が目指すべき将来像の実現に向けた取り組みを示すため、神戸市都市計画マスタープラン地域別構想“三宮～ウォーターフロント都心地区編”（以下、地域別構想）を策定いたします。

市民、市会、有識者のみなさまからいただいたご意見を踏まえて、地域別構想の諮問案を取りまとめましたので、お諮りいたします。

### 2. 市民意見募集の結果と諮問案への反映について

- (1) 意見募集期間：平成30年3月13日（火）～4月12日（木）
- (2) 意見件数：54通，127件
- (3) 主な意見と神戸市の考え方（抜粋）

項目	意見の要旨	神戸市の考え方
趣旨	今、なぜこの地域別構想が必要なのか理由・目的が不明だ。	三宮駅周辺では、平成27年9月に「神戸の都心の未来の姿[将来ビジョン]」及び「三宮地区周辺の再整備基本構想」を、ウォーターフロント都心エリアでは、平成23年3月に「港都神戸グランドデザイン」を策定し、現在、その実現に向けた取り組みを進めています。また、三宮駅とウォーターフロント都心の中間地点においても、市役所2号館、3号館の建て替えや東遊園地の再整備など、具体の事業計画が検討されています。 様々な事業が展開されようとしている今、お互いにしっかりと連携して相乗効果を発揮しながら、三宮からウォーターフロント都心エリアにかけて一体性のあるまちづくりを推進していくため、目標年次を2025年とした将来像の考え方を示す地域別構想の策定をめざします。
都市構造から求められるもの	三宮ばかりに公金を投入して一極集中させる巨大開発は、周辺の地域の衰退を招く恐れもあり反対する。元町や北野などたくさんの魅力あるまちや資源を整備・活用するなど、神戸市全体のバランスを考えて計画を見直すべきだ。	今回策定する地域別構想は、「神戸市都市計画マスタープラン」のうち、三宮からウォーターフロント都心にかけての個別の地域の将来像を示すものであり、一極集中を促進するための計画ではありません。 神戸市内には、元町、北野、南京町、旧居留地等の都心部のまちのほか、魚崎、有馬など、歴史的な成り立ちを背景に、様々な魅力にあふれる個性あるまちがあります。 神戸市では、神戸の都市づくりを総合的・戦略的に推進するため「神戸市都市計画マスタープラン」を策定し、その実現に向けて協働と参画によるわがまち空間づくりを推進しています。「まちづくり条例」「都市景観条例」等の規定に基づき、北野をはじめとした市内の各地域において、地域の特性を活かして、わがまちの魅力を磨き、新たな活力を生み出すためのまちづくり活動に対する支援や景観形成施策を協働と参画により展開しています。 引き続き、安全、安心、快適で活力と魅力ある、神戸市全体としてバランスのとれた持続可能な都市づくりに取り組んでいきます。

<p>土地利用</p>	<p>・一定の都心居住は、街の活力の増大につながるの で、高さの上限を設定の上 で、都心でも住宅を認めて はどうか。</p> <p>・三宮など交通利便性の高 い地域にオフィスビルを増 やし、企業の本社を積極的 に誘致することが重要だ。</p> <p>・高層マンション増加によ る教室不足などの教育環境 の悪化が問題となっており 、取り組むべき課題だ。</p>	<p>都心における住宅や商業・業務機能のあり方については、平成 28年7月に公表した「都心の将来ビジョンの実現に向けた土地 利用の誘導に関する基本的な考え方」に示すとおり、</p> <p>①三宮駅周辺では、商業・業務機能の集積を促進し、都市の魅 力と風格を感じさせる『顔』づくりを目指すため、一定のエリア で住宅の制限について検討する。</p> <p>②都心部全体としては、商業・業務機能の集積とバランス良い 都心居住を推進するため、住宅のボリュームの抑制について検討 することとしています。</p> <p>これらの考え方にもとづき、平成29年度に様々な分野の有識 者から成る有識者会議を設置し、会議結果を踏まえた報告書がと りまとまりました。現在、この報告書の内容を踏まえた土地利用 の誘導施策を検討しております。</p>
<p>都市交通</p>	<p>三宮駅からウォーターフロン トへの回遊を高めるため には、歩行手段だけではなく 、公共交通など様々な回 遊手段を検討するべき。</p>	<p>三宮からウォーターフロント都心を含む都心部内を気軽に回 遊できる魅力的な交通環境の形成をめざし、歩行だけでなく、 LRT、BRT、コミュニティサイクル、パーソナルモビリティなどの 多様な交通手段の検討を進めていきます。</p> <p>多様な交通手段の活用にあたり、それに合わせた走行空間の整 備も必要なことから、本編7ページの分野別の方針「(2)都市 交通 ③魅力的な交通環境形成のための人・公共交通を優先した 都心内の移動手段の充実」1行目に「走行空間の整備」を追記い たします。</p>
<p>都市機能</p>	<p>中央区役所、文化ホールな ど公共施設の移転、建て替 えには反対だ。既存建物の 改修等により、現地での存 続を検討すべきだ。</p>	<p>公共施設の移転、建て替えにつきましては、各施設に関連する 会議や市民意見募集で、市民のみなさまからのご意見を伺いな がら、現在の計画地で移転、建て替えする方針で検討を進めてい ます。</p> <p>各施設の具体的な規模、機能につきましても、引き続きみな さまからのご意見を伺いながら、検討を進めてまいります。</p>
<p>都市デザイン</p>	<p>三宮から新港町への回遊動 線において、段階・連続的 な景観が変化していくよう なデザインコードの設定が なされるべき。</p>	<p>三宮からウォーターフロント都心へ至る主要動線である税関 線(フラワーロード)沿道では、三宮クロススクエア、市役所2号 館、東遊園地等の再整備が予定されているほか、神戸国際会館、 K I I T O、神戸三宮フェリーターミナルなど、様々な拠点施設 が立地しています。三宮からウォーターフロント都心を含む都心 の回遊性を高めるためには、これらの拠点施設がそれぞれの個性 を発揮しつつ、全体として一体性のある景観形成を図ることで主 要骨格軸の魅力向上に取り組む必要があると考えており、この一 環として景観デザインコードの策定が必要と考えています。</p> <p>景観デザインコードの設定にあたっては、神戸らしい景観を維 持するために、周辺地域との調和が重要であることから、本編 10ページの分野別の方針(6)「都市デザイン」2行目に「周辺 地域と調和した景観デザインコード」と表現を追記いたします。</p>
<p>その他</p>	<p>・説明会の参加人数が少な く、このような説明会が成 立するのか。</p> <p>・パブリックコメントにつ いて、知らない人が多い。 十分な告知を行うべき。</p>	<p>地域別構想の素案については、平成29年度第3回都市計画審 議会、平成30年2月常任委員会に報告を行いました。また、素 案に関する説明会の開催および市民意見の募集にあたっては、広 報KOBE3月号や神戸市ホームページに掲載するとともに、区域 内の各まちづくり団体に伺って周知方法等を相談し、各地域に合 わせた丁寧な周知に努めました。</p>